

# 「菅江真澄が歩いた 白神山地の過去と今」写真展

白神山地の生物多様な自然遺産の魅力について、今から250年前に白神山地周辺を歩いた菅江真澄の図絵と日記等から再発見する機会となればと思います、白神山地世界遺産登録20周年を記念して開催致します。

**開催期間：平成25年10月26日（土）～11月4日（月・祝）**

**展示会場：青森市民ホール 1階ギャラリー  
午前10時～午後6時まで**

〒038-0012 青森市柳川1丁目2番14号 ☎ 017-722-3770

主催：青森市文化スポーツ振興公社・創芸企画グループ/特定非営利活動法人白神山地を守る会/  
鱒ヶ沢白神グリーンツーリズム推進協議会/特定非営利活動法人白神自然学校一ツ森校  
後援：青森県・青森市・弘前市・鱒ヶ沢町・深浦町・西目屋村・東奥日報社・陸奥新報社・毎日新聞青森支局  
・河北新報社・毎日新聞青森支局・河北新報社・NHK青森放送局・RAB・ATV・ABA(順不同)  
資料提供：秋田県立博物館・大館市立中央図書館

## 「菅江真澄が歩いた白神山地の過去と今」写真展 オープニングセレモニー

**開催日時：平成25年10月26日（土） 午前10時30分  
開催場所：青森市民ホール 1階ギャラリー前**

(オープニングセレモニー終了後、入場開始となります)



菅江 真澄 (すがえ ますみ) 1754 生-1829 年没 本名：白井英二

三河・尾張天明3年(1783年)故郷を離れ、信濃・出羽・陸奥・蝦夷地・下北・津軽と旅をし、享和元年(1801年)再び秋田を訪れ、1829年秋田県仙北市で亡くなっている。真澄は若い頃、名古屋の香積院の僧侶の丹羽嘉言と共に伊吹山で薬草を採取している。この地は織田信長が薬草園を開いたところでもあり、本草学をはじめとする知識を存分に吸収した旅は、図絵千七百図(随筆を除く)に及び、真澄の旅の見聞の集大成となっている。

# 「菅江真澄が歩いた白神山地の過去と今」写真展 記念講演会

※記念講演会参加には、申込みが必要です (先着 60 名様) ※

開催日時：平成25年10月26日(土) 午後1時30分

開催場所：青森市民ホール 1階第一会議室

講演タイトル：「菅江真澄、旅日記の読み方 ～津軽での記録～」

秋田県立博物館学芸主事 松山 修 氏

江戸時代後期の紀行家として知られる菅江真澄は、蝦夷地からの帰路、現在の青森県でおよそ9年間（下北2年半、津軽6年半）を過ごしています。旅の折々の日記には、人々の暮らしや文化、自然環境などについて、彩色した図絵と文章で記録しています。真澄の旅について、その糧（かて）となった「旅人・うた人・くすし」という三つの視点から、津軽の日記を読み解きます。

記念講演会講師：松山 修（まつやま おさむ）様について

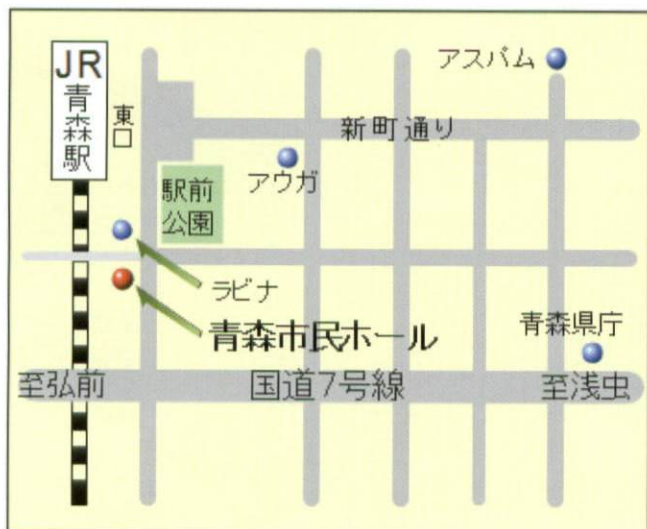
新潟大学教育学部を卒業後、秋田県内の小学校に11年間勤務。平成9年4月、秋田県立博物館に赴任。開設されて2年目の菅江真澄資料センターを担当し、今年で17年目となる。

博物館では、菅江真澄資料センター運営の全般に携わり、資料センター関係の展示活動のほか、博物館教室の開催などの教育普及活動、研究誌「真澄研究」の編集や執筆などの広報出版活動、資料の保存活動を行っている。

また、博物館の分掌として、教育普及班に所属している。



会場（青森市民ホール）ご案内図



## ◆◆◆ お申込み・お問い合わせ先 ◆◆◆

### 白神山地を守る会 事務局

〒030-0947 青森市浜館字科86-1

電話：017-743-8314 FAX：017-718-8545

メール：preserve@shirakami.gr.jp

- ・上記事務局宛に申込用紙をFAX、メールまたは郵送でお送りください。
- ・参加申込者が予定人数を超えて、ご参加いただけない場合のみ、ご連絡を差し上げます。
- ・下記申込内容の記入があれば、申込様式は問いません。（申込書式は任意です）

## 「菅江真澄が歩いた白神山地の過去と今」写真展記念講演会 参加申込用紙

名前 (代表者名)			
住所 (代表者住所)			
電話番号 (代表者電話番号)		申込人数	人
その他	※団体申込の場合、団体名をご記入下さい。		